

巡察達が寫眞を見せてくれと言つて來たりした。

一度規賢君が訪ねて來てくれた時、僕は狐ずしを買つて來て貰つて食べた。した。

「署長が面會に行つても、唾を吐き掛けてよせつけないからと言つて止めたんだよ」と規賢君は言つた。

僕は幾らか宛靜まつて來て、頭の工合も少し宛好くなつて來たようでもあつた。

「醫者を呼んで來て診察もし、薬ものまそうし、狂人なれば狂人らしく取扱つて貰はないと困る何日此處から出して來れるのだ。

俺はもうめしなんか食はない、絶食して死んでやる」

僕は其の辭腹が減つてたまらないのであつた。

義母は、

「毎晩隣りの留置場に休む、私の身にもなつて下さい」と言ふ。

「獨眼龍の醫者を呼んで來い」

來ても格子の外から、